

# インテリアデザインコンペ2021に入選しました



高松テクノサービス株式会社（設計部 石川 采奈・中村 勇輝）は、このたび、「Suplin（サップリン）私だけのどこでもワークスペース」において、一般社団法人日本インテリア協会が主催する「第18回インテリアデザインコンペ2021」の「入選」を果たしました。高松テクノサービスは、C&M(コンサルティング&メンテナンス)カンパニーとして顧客満足度120%を目指し、さらなる展開を図っていきます。



高松テクノサービス 設計部 主任 石川 采奈、中村 勇輝

## インテリアデザインコンペ2021について

インテリアデザインコンペ2021は、一般社団法人日本インテリア協会が主催する、インテリアの可能性を追求した作品の募集を通し、インテリアファブリックやインテリア業界全体の未来につながる次世代のアイデアや人材の育成を目的としたコンペティションです。

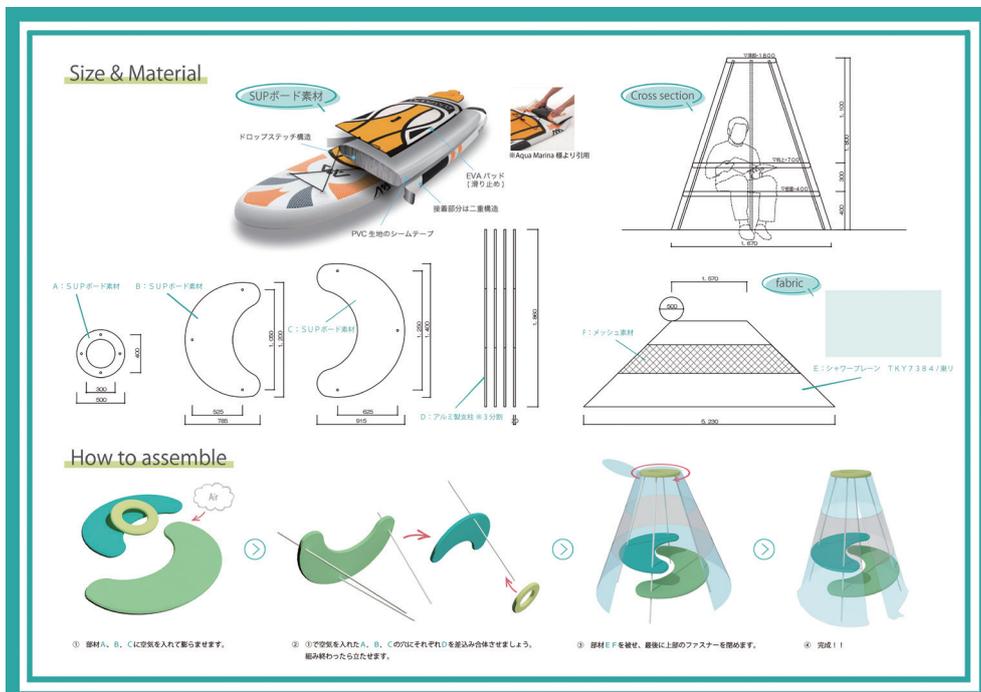
※ 入選作品は、JAPANTECH 2021 ONLINE でご覧いただけます。（要参加登録） <https://meetxmeet.com/japantech2021online>

高松建設グループ

 高松テクノサービス株式会社  
Techno



コロナ禍で、私たちの働き方に変化が起こった。リモートワークが普及し、会社に出社して仕事をするのが当たり前ではなくなった。そんな中、ワーケーションという働き方が注目されている。今後テレワークやワーケーションがスタンダードになることを見据え、その象徴となり得る空間を提案する。



この空間は、SUP ボードをデスク・チェアとして使用し、防水の生地で周囲を覆う形をしている。SUP ボードを使用していることと、プリンのようなその形状から「サップリン」と名付けた。サップリンは「好きな場所で働ける」ことをコンセプトとしている。自身が好きな場所へサップリンを持ち運び組み立てれば、そこがワークスペースとなる。それは砂浜や自宅のバルコニー等、屋内・屋外問わずどこであっても構わない。サップリンによって、「好きな場所」がさらに広がり、縛られない自由なワーク&ライフが実現されることを願う。